

**年度内を目指に高速道路深夜割引制度の変更！**



## **中小企業への影響は…**

の拡大は、物流業者の効率化につながるだろう。これにより中小企業の配送コストの削減や、より柔軟な業務スケジュールの設定が可能となりそうだ。また、割引計算方法の変更により、現行制度下での割引適用待ちによる車両滞留が解消されるとで、時間的なロスが減少し、業務効率が向上すると期待される。

一方県営点として、後日還元型の割引制度への変更は、一時的なキャッシュフローの負担増加をもたらす可能性

マイレージサービスやETCコーポレートカードの利用が必須となることで、一部の中企業にとっては車両負担が増加する可能性もある。結して、この制度変更は物流効率化や費用削減の機会を提供する一方で、企業の規模や業態によつては新たな課題をもたらす可能性がある。中小企業経営者は、自社の業務形態に照らして、この変更がもたらす影響を慎重に検討し、必要に応じて対策を講じる必要がありそうだ。

**粉飾決算の企画**

会計士協会は7月16日、会計不正を公表した企業が3年連続で増加したことを発表した。粉飾決算は重大な経済犯罪であり、厳しい刑事罰の対象となる。主に金融商品取引法違反として、10年以下の懲役若しくは1000万円以下の罰金、またはその併科という重い刑罰が科される可能性がある。また、脱税目的の場合には法人税法違反と

代償と経営リスク

企業の場合は上場廃止のリスクもある。これらは企業の資金調達能力を著しく低下させ、経営の自由度を奪う。また、優秀な人材の流出や新規採用の困難化、"ブランドイメージ"の毀損による売上減少なども起りうる。これら のリスクを考慮すると、企業の存続 자체を脅かす極めて危険な行為であり、経営者は常に適正な会計処理と透明性の高い経営を以がけ、健全な企業運営に努めることが不可欠である。

日本、西日本の3社が、  
高速道路の深夜割引制度の見直しを図った。主な変更点は、割引が適用される時間帯の拡大と割引適用時間帯の走行距離の上限が設けられることだ。これは中小企業にとって様々な影響をもたらすだろう。まず、メリットとして、  
して、割引適用時間帯

がある。特に資金繰りの厳しい中小企業にとっては、この変更が経営に影響を与えるかねらい。また、無謀な運転の抑止策として設定される割引適用時間帯の走行距離の上限は、長距離輸送を主とする企業にとっては不利に働く可能性がある。さうに、新制度への移行に伴う手続きや、ETC

# 中小企業向け 省エネ投資促進制度への 期待と課題

の産業界全体の脱  
化を加速させ重  
一步である。しか  
この施策にはいく  
の課題が懸念され  
ます中小企業の人  
員と情報不足が依  
て大きな障壁と  
可能性が高い。金  
銭による支援が提  
供されるとはいへ、中  
東側に省エネ投資  
受け

か複雑化すれば、  
自体が中小企業にて大きな負担とな  
り得もある。省工  
業の定量化や申請  
の作成に専門知識  
をとねれば、多く  
ことになるだろう  
にモ、<sup>かじ</sup>認定金融  
の地域的偏りや  
よっては、支援を  
うれる中小企業に



参考文献

- 文献  
・東日本高速道路株式会社  
中日本高速道路株式会社  
西日本高速道路株式会社  
高速道路の深夜深夜割引見直しの内容について～令和6年度末頃の運用開始予定～

PMGでは補助金や助成金申請のサポートなども行っております。どうぞお気軽にご相談ある。

